

多世代にわたる人々が集い、時を過ごして

交流する憩いの拠点づくりを！

多久駅周辺中心市街地のまちづくりについては、若者、子育て世代、高齢者などの多世代の方々から意見を聞き、人々の居場所となるまちづくりを進めています。昨年は、その一翼を担う多久駅北側の施設を検討してきました。今月号では、これまでの経過を報告し、交流の拠点となる中核施設（仮称）の概要をお知らせします。

まちの活性化を話し合い 中核施設を考える

▲多久駅前に建設予定の中核施設（仮称）のイメージパース

これまで多久駅周辺中心市街地のまちづくりについては、平成21年に地元商業者を中心に、まちづくり協議会（飯盛康登会長）を立ち上げ、「今、街なかに何が求められているか」など中心市街地のまちづくりの方針や、その内容を具体化させるための計画・組織づくりについて話し合いを重ねてきました。この計画の中心となる多久駅前の中核的な施設については、多世代にわたる人が集い、時を過ごし、交流する場としての機能を持たせるため、世代ごとに意見交換も行ってきました。

まちづくり協議会に、中核施設の運営と事業について考える「中核施設部会」、まちなかでの事業や活動を行っていく組織について考える「まちづくり組織部会」、まちの賑わいとまちなみ形成に向けて考える「商業・まちなみ部会」の3部会を設置し、それぞれの課題について検討してきました。

また各部会合同によるワークショップを開催。各部会で検討した内容をもとに、その憩いを中核施設（仮称）の基本構想・基本設計として取りまとめました。

中核施設（仮称）の概要は次ページのとおりです。

6/10

よって見んしゃいー

軽トラ市多久&ハピたくらぶ元気玉まつり

多久駅北側駐車場を会場に筋原商工連盟と「ハピたくらぶ」の共催で行われたまつりは、市内外から約3千人を超す来場者で賑わいました。



▲初夏の日差しがまぶしい陽気の下、恒例の軽トラ市は大繁盛！



▲参加者全員で元気にラジオ体操



◀多久高校ブラスバンド演奏♪



▶市内保育園児による遊戯



多久翁さんも来たよ